

ギカイだより

vol
158

平成28年5月1日



3月定例会号～主な掲載内容～

平成28年度当初予算について審議しました。

→ 2ページ

まろっ子ひろばを視察しました。

→ 9ページ

GIKAI DAYORI	
contents	
3月定例会の概要	2~3
一般質問	4~8
委員会レポート	9
審議結果	10
政務活動費収支報告	11

平成28年度 一般・特別・企業会計予算

総額468億9,452万円を
可決



3月定例会では、開会日に市長から施政方針が示されるとともに、一般会計予算など12会計の平成28年度予算案をはじめ、条例制定案など40議案が提案され、各常任委員会での議論を経て、いずれも原案のとおり可決しました。

また、最終日には市長より提出された坂出市固定資産評価審査委員会委員の選任等及び議会運営委員会より提出された坂出市議会基本条例の改正案について、いずれも原案のとおり可決しました。

(議案の審議結果は10ページをご覧ください。)

一般会計予算の概要

- ▼前年度に比べ9億7,640万円の減額、率にして4.2%減の減額予算となっています。
- ▼歳入予算では、消費税率引き上げによる地方消費税交付金の平準化に伴う增收が図られるものの、市税全体では前年度に比べ7,620万円の減収となるとともに、地方交付税においては2億2,300万円の大幅な減額が見込まれています。
- ▼市税等で対応しきれない費用を、主に財政調整基金からの繰り入れ(約8億700万円)によってまかなっています。
- ▼歳出予算では、大規模防災事業の完了などに伴い、普通建設事業費については約3割減となった一方、社会保障費の増大により扶助費は3年連続の増加となりました。また、新庁舎建設に要する財源確保に向けた基金の積み増しを行うため、繰出金等が増えています。

用語解説

一般会計

福祉や教育など市民のために広く使われる会計のこと

特別会計

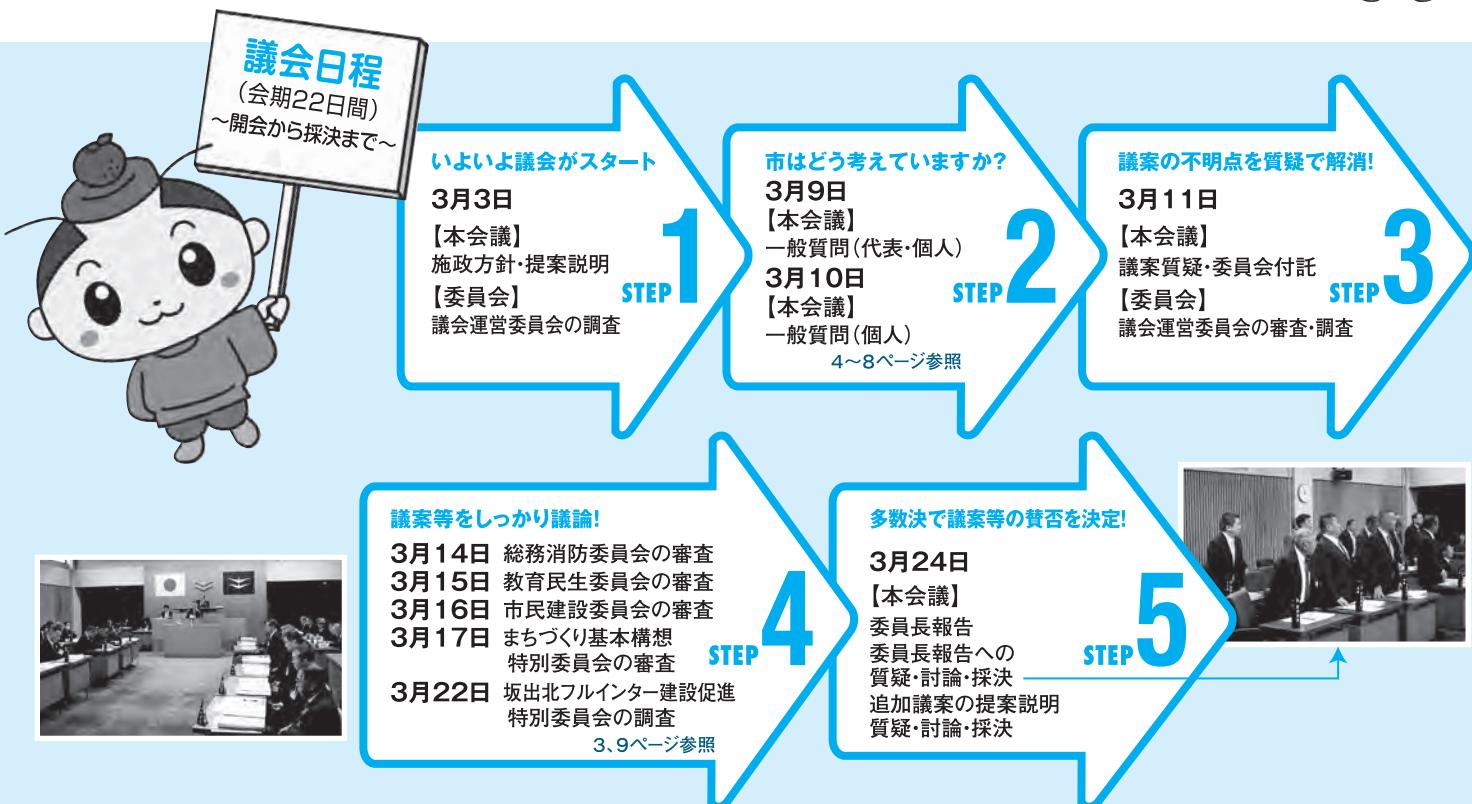
一般会計とは別に国民健康保険事業や下水道事業など、特定の目的のために使われる会計のこと

企業会計

水道事業や病院事業のように利用者が負担する経費(水道料金や診察料)によって運営される会計のこと

財政調整基金

年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てる基金、市の貯金のようなもの



主な議案を Pick UP

ピックアップ



まちづくり基本構想について集中審議!!

議案第49号 坂出市まちづくり基本構想を定めることについて

本市では、総合的かつ計画的な行政運営を図るため、これまで4次にわたりて総合計画を策定してきました。直近の第4次坂出市総合計画は、平成27年度を目標年度とし、平成17年度に策定されたものです。

平成23年度の地方自治法改正により、総合計画における「基本構想」部分の法的策定義務がなくなりましたが、これまでも「基本構想」は市政の長期ビジョンを示すものであり、市政の各分野における最上位の方針として位置づけられてきました。今後、新たに策定される「基本構想」についても明確な位置づけを付与することにより、継続的な市政運営を行っていく必要があるとして、平成26年12月定例会にて「坂出市まちづくり基本構想の策定に関する条例」が提案され全会一致で可決したところです。

今回、第4次坂出市総合計画の後継計画として坂出市まちづくり基本構想が策定されるにあたり、議会としても、3月定例会において特別委員会を設置して集中的に審議することとしたものです。

策定経緯と議会における審議

今のサカイデを知る
市民意識調査
(市民アンケート)

平成26年
12月

策定作業開始
・まちづくり基本
構想審議会
・委員会、幹事会
(庁内)

審議会からの答申

平成28年
2月

まちづくり基本構想
特別委員会を設置
(議長を除く19名の議員で構成)
・委員長:大前 寛乗
・副委員長:植條 敬介

まちづくり基本構想
特別委員会で
基本構想(案)について審議

主な質疑応答

問 基本構想の内容を適正に進めて
いくうえでのチェック体制は?

答 基本構想の推進に当たっては、
策定(Plan)、実施(Do)、成果の
検証(Check)、見直し・改善(Action)と
いう一連のプロセスから成るPDCAサイクルに基づき、適切な進行管理を行います。

◎その他、第4次総合計画との違い
に関する質問や坂出市独自の明確
な目標を示すべきではといった意見
が相次いで出されました。

平成28年
3月17日

平成28年
3月3日

平成28年
3月24日

本会議において
全会一致で可決

Q&A 一般質問

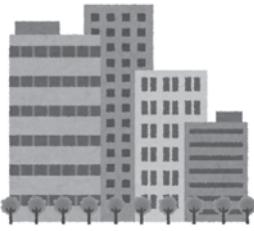


一般質問は市政全般にわたり、市長その他執行機関に対し、事務の執行状況や将来への方針等について、所信を質したり、報告や説明を求めるために行うものです。3月定例会でのみ所属議員3人以上の会派が代表質問（時間50分）を行うことができます。今定例会では2会派が代表質問を行い、5人の議員が個人質問（時間30分）を行いました。

※質問の要旨を質問順に掲載しています。（代表質問は4～5ページ、個人質問は6～8ページに記載）

代表質問

村井 孝彦 議員
市民グループ未来の会



A 喫緊の課題である人口減少の克服と地域活力の向上を実現するには、市民共働の取り組みが必要不可欠であり、これまでも一貫してその取り組みを推進してきました。新年度からは新たな取り組みの第二歩として共働課を設置し、市民共働の取り組みをさらに進めています。

基本構想の推進においては、連動する各分野の個別計画について、PDC Aサイクルに基づく適切な進行管理を行い、「働きたい 住みたい 子育てしたい 共働のまち さかいでの実現」に向け、全力で取り組んでいきます。

（市長）

Q 坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略や坂出市まちづくり基本構想で定めた目標を実現するため、どのような体制で臨むのか。

A 基本構想等に示す理念や基本目標の実現に向けた今後の取り組み体制は

「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」を基本コンセプトとし平成28年度から2か年の予定で策定される立地適正化計画は、まちづくり基本構想に示す理念や基本目標との整合性を保ちながら策定し、本市の目指すまちの姿の実現に向けた1つの個別計画に位置付けられます。

（市長）

Q 立地適正化計画とまちづくり基本構想やグランドデザイン等との関係は

A 「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」を基本コンセプトとし平成28年度から2か年の予定で策定される立地適正化計画は、まちづくり基本構想に示す理念や基本目標との整合性を保ちながら策定し、本市の目指すまちの姿の実現に向けた1つの個別計画に位置付けられます。

また、立地適正化計画はグランデデザインに掲げる各事業の実施のために必要不可欠な計画と考えています。

（健康福祉部長）



平成26年度末に坂出市高齢者福祉計画および第6期介護保険事業計画を策定したが、地域包括ケアシステム構築に向けた進捗状況は。

2025年問題を見据えた地域包括ケアシステム構築の実現を

質問の主な項目

- ・市長のまちづくりに関する政治姿勢について
- ・新年度における綾市政について
- ・まちづくり施策について
- ・人づくり施策について

さらに、地域包括ケアシステムの実現に向けた有効な手法として、ネットワーク構築・地域づくりなどの重要な役割を持つ坂出市地域ケア会議を平成27年度に設置しました。

引き続き、坂出市介護保険事業計画運営推進委員会のご意見をいただきながら、地域包括ケアシステムの実現に努めています。

代表質問

楠井 常夫 議員

新政会

市民が地域の魅力を市外に
発信できるような「住みたい
まち」の実現を

Q 「住みたいまち」としての魅
力を高めるためには、市民が
地域の魅力に気づき、自信をもつて
市外に向かつて発信することも重要
である。坂出市教育大綱の中に「ふ
るさと坂出を誇りに思う教育の充
実」があるように、市民意識の醸成
にどのように取り組んでいくのか。

A ふるさと坂出を誇りに思う心
は、市民の心の中に確実に育
まれていると確信しています。行政
のみならず、市民共働で坂出の魅
力を積極的にPRしていくなど、そ
の時々の社会情勢や本市の現状と
課題を的確に捉えつつ、一人でも多
くの方々に「住みたい」と思われる
ようなまちの実現に向け、各種施
策の展開を図っていきます。

(市長)

- ・人口増対策の推進について
- ・老朽危険空き家除却支援事業
の実施について
- ・鳥獣被害対策の推進について
- ・公園整備の推進について

ふるさと納税で多額の寄附を
集めている自治体においては、
情報誌等に盛んに取り上げられるな
ど、多大なPR効果を上げている。
新年度においてふるさと納税制度に
どのように取り組んでいくのか。

新たに設置する共働課が
活性化の推進を中心となり地域コミュニティ

Q 市民参加、市民共働を推進す
るために、新たに設置する共
働課が果たす役割は。



A 地域課題の解決に向けた取り
組みとして出前市役所を創設
するなど、これまで一貫して「市
民共働」を基本理念とした市政運
営に取り組んできました。特に自
治会については、市民と行政のパ
イプ役として非常に重要な存在で
あり、核家族化の進展に伴い、人
間関係の希薄化が問題となる中、
その役割がますます増大かつ多様
化していくことを踏まえ、新年度
より共働課を設置し、財政的支援
を拡充するとともに、加入率の向
上に向けた取り組みを推進してい
きます。

(市長)

(副市長)



Q ふるさと納税制度を積極的に
活用したシティプロモーション
の推進を

A 新年度より、寄附件数や寄附
金額の増加だけでなく、さらな
る本市特産品のPR、地元企業の活
性化を図るため、「さかいでブランド」
以外にも本市にゆかりのある商品や
サービスを提供できる事業者等を新
たに募集するとともに、ふるさと納
税の事業に実績のある業者に業務を
委託し、新たな返礼品の発掘やカタ
ログの作成、インターネットや新聞、雑
誌などを通じた効果的なプロモー
ションを行い、坂出市の認知度向上に
取り組んでいきます。また、ふるさと
納税専用サイトやクレジット決済の活
用により利便性

ギカイを観る

本会議、委員会はご自由に傍聴いただけます。また、お体のご不自由な方も車いすのままで傍聴できますので、お気軽にお越しください。

ギカイを読む

本会議での質問や答弁などの発言は、毎回、会議録にまとめられ、図書館または市議会ホームページから自由にご覧になります。ぜひご利用ください。

ギカイを視る聴く

一般質問の模様に関しては、ケーブルテレビ(KBN)の生放送とインターネット配信(録画)でご覧になれます。配信映像は市議会ホームページからご利用ください。

いつしょに考えていきませんか
わたしたちのまちのこと



脇 芳美 議員 新緑

地籍調査の進捗状況や
今後の予定は

Q 本市の地籍調査は市域を10区画に区分した上で、1区画の調査を3年で完了することとしている。当初1班体制で調査を開始し、その後、順次調査班を増やし、調査体制を拡充していくとしていたが、現在の進捗と今後の計画は。

A 市職員で組織する直営1班体制で平成25年度は604筆、26年度は475筆について調査を行いました。平成27年度は調査対象が約1200筆に増加したため、業者委託班1班を新たに加え対応しています。平成28年度は直営班1班、業者委託班2班の3班体制により、調査地区としては、入船町一、二丁目、坂出町、宮下町、中央町の一部を予定しています。

(建設経済部長)

- ・仮称ふるさと坂出スポーツ大会の内容について
- ・消防団応援制度の成果について
- ・空き家対策について

縁結び大使のサポートによる婚活支援の充実を

Q 本市では、若者の未婚、晩婚化に歯止めをかけるため、独身男女の出会いを創出する婚活イベントの実施に補助金を支出しているが、婚活イベントで誕生した多くのカップルが、結婚に至るよう後押しをするために、仲人的な役割を担う縁結び大使を認定し、婚活支援の充実を図つてはどうか。

A 婚活支援については、行政が前面に出るよりも、自由な発想と行動力のある民間団体において実施する方が、より大きな成果が得られるものと考えています。当面は、現在の婚活支援事業補助金制度を継続し、その支援に努めています。

(総務部長)



出田 泰二 議員 市民の声

住みやすさを全国に発信する
シティプロモーションの展開を

Q 本市では、子育て支援策や他市町にはない高校生の資格取得に関する補助金制度など、住みよさを実感できる施策は充実してきているが、市外におけるこれらの施策の認知度は非常に低いのが現状ではないか。定住促進のために、インパクトのある市ホームページの更新など、今こそ本市の住みやすさを積極的に県内外に発信すべきと考えるが。

A 都市間競争が激しくなる中、本市が生き残るために、シティプロモーションの重要性はますます大きくなっていると考っています。他の自治体にはない施策や本市の素晴らしいしさを市ホームページのトップページに一日で分かるように表示するなど、今後、他自治体のホームページ等も研究する中で、鋭意努力しています。

(総務部長)

- ・PDCAサイクルの活用について
- ・広域連携の推進について
- ・薬物乱用防止に対する啓発について

にぎわい創出事業の補助金
総額の拡充を

Q 「にぎわい創出事業」は市民共働を具現化した新しい施策であり、評価する。そこで、より幅広い団体に事業を知つてもらい、まちづくりへの参画を促すために、積極的にPRすべきであり、また予算を拡充しつつ、事業内容にメリハリをつけることで、支援団体数をもつと増やすべきであると考えるが。

A 事業の周知方法としては、市ホームページ、市広報で広く募集するとともに、平成27年度はチラシを作成し全戸配布しました。

にぎわい創出事業も平成28年度で4年目を迎えることから、申請者が申請しやすい環境や、同一事業が毎年重複しないよう、補助対象年度を限定するなど、見直すべきものは見直していきたいと考えています。

(建設経済部長)



個人質問

野角満昭議員

日本共産党議員会

本市経済の活性化のため 地域内再投資力向上の取り組みを

Q 本市経済政策の中核として、中小企業振興基本条例の早期制定が重要であると思うが、その考えは。

A 本市としては、坂出商工会議所と連携を図る中で、小規模事業者が地域で精力的に経営を続けられる体制の構築のため、鋭意検討しています。

現在、坂出商工会議所が国から経営発達支援計画の認定を受け、市内の全小規模事業者を対象に実施したアンケート調査の結果が平成28年度中に取りまとめられる予定です。その結果をもとに中小企業の振興策を講じる上で必要な、真の課題や問題点の把握に努めていきます。

(建設経済部長)

- ・施政方針と地方創生について
- ・就学援助制度について
- ・広報さかいで配布率の向上について



先進地事例を参考に
有効な就学援助制度の創設を

Q 栃木県日光市の入学資金貸付制度や福岡県福岡市の入学準備金の入学前支給など、他市では小中学校に入学予定の児童生徒に対する独自の就学援助制度があるが、本市においても取り組む考えはあるか。

A 経済的に困窮している保護者の利便に資する極めて有効な制度であると考えられますが、本市をはじめとする県内市町では、本入学後の給付に留まっています。

入学前の給付等についてはまだまだ全国的にも実施例が少ない事例であり、今後、全国的な動向や先進事例を参考にしながら、導入については十分に検討していきたいと考えています。

(教育部長)

松成國宏議員

公明党議員会

旧市立病院跡地の活用予定は

Q 旧市立病院跡地は市の中心部にあり、その周辺環境も含め、

非常に価値の高い土地である。本市の
グランピングデザインとも関連する非常に
重要な判断も伴うが、今後の活用予
定についてどのように考えていくのか。

A 旧市立病院の建物解体撤去について、新年度の病院事業会計当初予算に計上しているところであり、新年度の早期に解体工事に着手し、年度内には本館等の撤去を完了したいと考えています。（総務部長）

旧市立病院の跡地活用については、昨年策定した「坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも掲げているように、「活力と交流のある、住みたいまちづくり」につながる本市の活性化を促進するような活用方法が望ましいと考えており、様々な方向から検討をすすめているところです。

(七)

- ・選挙制度改革について
- ・女性の活躍の促進について
- ・脳脊髄液減少症について



増加する外国人観光客の受け入れ環境の充実を

Q 外国人観光客が増加傾向の中、利便性向上のために、無料のWi-Fiスポットを設置する取り組みが全国の自治体で広がっているが、

A 香川県などが観光客向けの無料Wi-Fiスポット「かがわWi-Fi」を運営しており、スマートフォンなどのメールアドレスを登録することで、1回30分、1日8回、最大で240分間無料でインターネットが利用できます。

市内では瀬戸大橋記念館など、33カ所で既に利用できますが、瀬戸内国際芸術祭期間中は、沙弥島会場をはじめ、西ノ浜でも「かがわWi-Fi」が利用できるようになりました。今後も外国人観光客の受け入れ環境の充実に取り組んでいきます。

(建設經濟部長)

委員会 Report

付託議案
17件

教育民生 委員会

全議案全会一致で可決



「まろっ子ひろば」がオープン!

子育て相談や子育てに関する情報の提供、イベント・講座などを通して子育て家庭を支援する「まろっ子ひろば(さかい子育て支援センター)」が林田町にオープンします。

Q 利用に事前予約は必要か。

A 相談事業や遊具等の利用については、初回利用時に利用申請が必要ですが、次回からは申請後交付される利用許可証を持参すれば、利用可能です。ただし、平成29年度から実施予定の一時預かり事業は、保育士等の人員の確保が必要なため、利用前日の正午までに申し込んでいただく必要があります。



3月24日に委員を含めた議員が開所前の施設を見学しました。



坂出北フルインター建設促進特別 委員会



スマートインターチェンジの整備による効果や影響等に関する中間とりまとめについて

当局より、坂出北スマートインターチェンジ準備会がこれまで5回にわたり開催され、その検討結果としてスマートインターチェンジの整備による効果や影響等に関する中間とりまとめについて報告がありました。

1. 信頼性の高い物流ネットワークを形成
2. 「みなど」と「みち」の強い絆で企業進出
3. 速さとわかりやすさで観光集客アップ
4. 中・西讃地域の安心なくらしを提供
5. 地域を担う子どもにとって安全なまちに
6. コンパクト+ネットワークで住みやすいまちへ
7. 四国にとって大規模災害時の重要拠点に
8. 災害時にも早期復旧で安心なまちに

以上8項目が期待される効果として取りまとめられています。委員からは、その内容の詳細に関して質問や意見が挙げられました。

また今後は、引き続き準備会において協議することとなる概略検討及び詳細検討に基づき実施計画書(案)の策定を進める予定であるとの説明がありました。

付託議案
13件

総務消防 委員会

全議案全会一致で可決



新婚世帯への家賃補助の継続を

Q 新婚世帯家賃補助制度は現在のところ3年間限定の取り組みであり、平成28年度が最終年度となるが、今後継続する予定は。

A 現在、制度の利用者に対してアンケートを実施しています。アンケートの結果や新規事業のまちなか中高層共同住宅建設促進補助制度の状況、他市の先進事例などを考慮しながら、当該事業の継続を含めて本市の人口増加により効果的な施策を検討していきます。



付託議案
11件

市民建設 委員会



新年度も予定されているプレミアム付き商品券の概要は

市内の消費喚起と地域経済の活性化を図るために、坂出商工会議所が1割のプレミアムをつけた新たな商品券事業の実施を予定しており、本市は当該事業に補助金を交付し支援します。

Q 昨年の商品券では1,000円単位であったが、500円単位の方が使い勝手が良いという声も聞かれた。その点は検討されているのか。

A そういった声があることも把握していると聞いています。その他の点についても、国の交付金等を活用した平成27年度の事業成果を踏まえ、継続していくべき点や改善点を精査し、市民が商品券をより利用しやすい仕組みづくりを商工会議所において検討しています。

→ 議案第51号、議案第53号、議案第64号及び議案第65号について採決により可決、その他は全て全会一致で可決

※議案名については10ページをご覧ください。

平成28年

3月定例会の審議結果

議員数=20名 表決参加議員数=18名(欠席議員1名)
※議長は表決には加わりません。

可決

賛成17名
反対1名

市長提出議案

議案第41号 坂出市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について

原案可決に 賛成

原案可決に 反対

植原 泰、脇 芳美、東原 章、鳥飼年幸、若谷修治、村井孝彦、斎藤義明
出田泰三、茨 智仁、大藤匡文、植條敬介、若杉輝久、松成国宏、楠井常夫
吉田耕一、大前寛乗、東山光徳

野角満昭

可決

賛成17名
反対1名

市長提出議案

議案第51号 香川県広域水道事業体設立準備協議会への加入について
議案第64号 平成28年度坂出市水道事業会計予算(案)

原案可決に 賛成

原案可決に 反対

植原 泰、脇 芳美、東原 章、鳥飼年幸、若谷修治、村井孝彦、斎藤義明
出田泰三、茨 智仁、大藤匡文、植條敬介、若杉輝久、松成国宏、楠井常夫
吉田耕一、大前寛乗、東山光徳

野角満昭

賛成意見(要旨) これまでの分析や検討結果等を踏まえ、当該協議会への参加を決定したのは妥当であり、協議会で積極的に議論する中で、本市の意見を主張していくべきである。

反対意見(要旨) 水道事業の広域化にはさまざまな問題点が存在し、それらに関する議論が不十分であることから当該協議会への参加は時期尚早である。

可決

賛成16名
反対2名

市長提出議案

議案第53号 平成28年度坂出市一般会計予算(案)

原案可決に 賛成

原案可決に 反対

植原 泰、東原 章、鳥飼年幸、若谷修治、村井孝彦、斎藤義明、出田泰三
茨 智仁、大藤匡文、植條敬介、若杉輝久、松成国宏、楠井常夫、吉田耕一
大前寛乗、東山光徳

脇 芳美、野角満昭

賛成意見(要旨) 未だに差別が現存することは事実であり、差別解消に向けた当局の取り組みは評価できる。

反対意見(要旨) マイナンバー関連予算(野角議員)、同和対策事業(脇議員、野角議員)、ごみ処理手数料有料化事業(野角議員)に関し反対である。

可決

賛成17名
反対1名

市長提出議案

議案第62号 平成28年度坂出市後期高齢者医療特別会計予算(案)

原案可決に 賛成

原案可決に 反対

植原 泰、脇 芳美、東原 章、鳥飼年幸、若谷修治、村井孝彦、斎藤義明
出田泰三、茨 智仁、大藤匡文、植條敬介、若杉輝久、松成国宏、楠井常夫
吉田耕一、大前寛乗、東山光徳

野角満昭

可決

賛成17名
反対1名

市長提出議案

議案第65号 平成27年度坂出市一般会計補正予算(案)(第4号)

原案可決に 賛成

原案可決に 反対

植原 泰、脇 芳美、東原 章、鳥飼年幸、若谷修治、村井孝彦、斎藤義明
出田泰三、茨 智仁、大藤匡文、植條敬介、若杉輝久、松成国宏、楠井常夫
吉田耕一、大前寛乗、東山光徳

野角満昭

全議員が賛成した議案(可決・同意)

市長提出議案

予 算

条 例

そ の 他

議員提出議案

条 例

平成28年度坂出市 国民健康保険与島診療所 特別会計予算案 など16件
坂出市行政不服審査 法施行条例制定 など 14件
さかいで子育て支援 センターの指定管理者 の指定など 6件

坂出市議会基本条例の 一部を改正する条例制定

議案内容等の詳細は、坂出市議会ホームページ【議案内容等・審議結果】をご覧ください。

意見書案に対する各会派の取り扱い状況

市民の皆さん等が持参された陳情(議会に対する要望・希望)のうち、行政機関等への意見書の提出や議会の決議を求めるものについては、議会運営委員会において各会派の意見聴取を行います。このうち全会一致となったものは、議会運営委員会が提出者となり、意見書案を提出します。今回は全て不一致のため、意見書案の提出はありません。

- ①「最低賃金の改善と中小企業の支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書 (提出者)香川県労働組合総連合
②国民生活の安全・安心を支える国の行政機関等の体制・機能の充実を求める陳情書 (提出者)香川県国家公務員労働組合共闘会議

	市民グループ未来の会	新政会	公明党議員会	市民の声	改進の会	日本共産党議員会	新緑	市民と共に
①	×	×	×	○	×	○	○	○
②	×	×	×	×	×	○	×	×

平成27年度

政務活動費 收支報告



政務活動費とは、地方自治法に基づき、市長が議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付するものです。その交付額や交付対象については坂出市議会政務活動費の交付に関する条例で定めており、各会派に対し1人当たり年額25万円を交付しています。



(単位：円)

会派名	市民グループ 未来の会	新政会	公明党 議員会	市民の声	改進の会	日本共産党 議員会	新緑	市民と共に
会派人数	8人	4人	2人	2人	1人	1人	1人	1人
交付額	2,000,000	1,000,000	500,000	500,000	250,000	250,000	250,000	250,000
使途の内訳	調査研究費	0	0	0	0	0	0	0
	研修費	104,970	0	107,636	432,816	0	0	113,768
	会議費	0	0	0	0	0	0	0
	調査旅費	1,152,164	529,584	0	0	0	45,510	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0	0	0
	資料購入費	0	0	103,655	0	0	0	0
	広報費	250,560	0	0	0	250,000	0	0
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	0	0	0	0	0	0	0
残額	492,306	470,416	288,709	67,184	250,000	0	204,490	136,232

※平成28年3月31日現在の会派について掲載しています。

ちょっと
気になる

政務活動費 ? 具体的にどのように使われているの ?

本市の平成27年度実績では、先進地視察や研修などの経費(約80.5%)、広報紙作成等の経費(約16.2%)、図書や資料等の購入などの経費(約3.3%)、使われています。

使途の詳細については市議会ホームページをご覧ください。

図書や資料等の
購入などの経費(3.3%)

広報紙作成等の経費
(16.2%)

先進地視察や
研修などの経費
(80.5%)

全国から
坂出に!!



平成27年度に視察に訪れた団体(平成28年2月~3月)

- 3月25日 千葉県市川市議会 市民後見人制度
- 3月28日 埼玉県東松山市議会 市立病院の経営改善

平成27年度は全国から多くの行政視察の受け入れを行いました。29団体のうち、半数以上が介護分野の施策に関する視察でした。

主な項目

1. 市民後見人制度について 10団体
2. 認知症初期支援チームについて 6団体
3. さかいでブランド認定制度について 2団体



In 瀬戸内国際芸術祭 2016 沙弥島会場

瀬戸内国際芸術祭2016が開幕し、本市の沙弥島会場でも3月20日(日・祝)から4月17日(日)までの春会期、29日間にわたって、多くの来場者で賑わいました。

そこで、アートを楽しみに来られた皆さんに「とっておきの坂出は?」ということで、会期中の3日間37名の方にインタビューしました。

Q

坂出のいいところ、おすすめ、坂出といえば…何ですか?

(複数回答可)

結果

- 1. **瀬戸大橋** 13票
- 2. **うどん、豊かな自然** 各8票
- 3. **沙弥島** 3票

※他にも…さかいであら、金時にんじん、塩のまち、東山魁夷せとうち美術館 などなど



インタビューにご協力いただいた方の約7割が市外(うち半数以上が県外)という中、様々な回答をいただきました。

会場のロケーションもあり、**瀬戸大橋**という回答が多く聞かれました。

こんな**意見**もありました

- **春会期の沙弥島会場に来たが、坂出についてあまり知らない。**
- **もっと万葉会館を活用してみては。**



編集後記

瀬戸内国際芸術祭2016が「海の復権」をテーマに開幕いたしました。春会期の会場となった沙弥島には、県内外から現代アート作品や芸術的なイベントを目当てに、多くの来場者が訪れ、非常にぎわいました。作品もさることながら、ナカンダ浜からの瀬戸内海と瀬戸大橋を眺望できる「美観の海」も多くの方を魅了しました。

しかしながら、近年、歴史的文化に価値のあるナカンダ浜やオソゴエの浜に、マナーやルールを守らない人が訪れることで問題も起きるようになりました。

坂出市が誇る名所「ナカンダ浜」を守り後世に継承し、集い親しまれるような場所にしていきたいと思います。(若谷)

広報広聴委員会	委員長	若杉輝久	副委員長	出田泰三
委員		植原 泰	東原 章	鳥飼年幸
		若谷修治	茨 智仁	吉田耕一

3月定例会で同意した人事案件【敬称略】

◎坂出市固定資産評価審査委員会委員

宮本 賢一 井上 未廣

◎人権擁護委員候補者

中村 修二 中山 香代子



次回開催は…
臨時会を5月中旬に、
6月定例会を6月中旬に
開催予定です

